

事業所名

まんまる

支援プログラム

作成日

2025年

3月

15日

法人（事業所）理念		自分の目で見、自分の耳で聞く。自分の肌で触れ、自分の鼻で嗅ぎ、自分の舌で味わう。子どもは楽しさを知り、仲間と共有することでさらに没頭し集中力が高まります。もっと上手に楽しみたいと思うことで遊びを変化させ創意工夫します。大人が過度に介入しなくても、自らに行動の決定権があると責任感を感じ、自ら学び、調べ、考え、変幻自在に遊びを共有することでどんどん成長していきます。正確に物事を捉え、伝えるためには最初の入り口である五感が重要な役割を果たします。五感を研ぎ澄まし、感受性が豊かになると楽しみ方が豊かになります。自然の巡りに寄り添うことで、様々な感覚を刺激し、豊かな心を育みます。						
支援方針		様々な角度からアプローチすることを試みます。多角的なバランスの取れたプログラムを行うことにより、より幅広く成長のきっかけを掴み、社会に出た時に様々なシーンでの生きる力に繋がります。子どもたちが自己決定権を持った中での小集団活動を営むことにより、子供自身が変化を感じ、自らやる気を生み出し、成功体験を積むことで社会生活に必要なスキルを養っていきます。また、学校や家庭での困り事など個々のニーズ、発達段階に対応しながら、自然の中での活動やリーダーなどを担う経験なども通し、集団における役割の自覚、主体的な責任意識の育成、自己肯定感の育成、豊かな感受性の育成を支援します。						
営業時間		10時	0分	19時	0分	送迎実施の有無	あり	なし
支 援 内 容								
本人支援	健康・生活	<ul style="list-style-type: none"> ・農作業療法を通し、食卓に並ぶ食材ができる過程を知り、自ら栽培を体験することで食生活の改善 ・スケジュールボードなどを活用し、来所からの流れを定着するすることで挨拶、荷物の整理整頓、排泄、衣類の着脱の定着など身辺自立 ・活動ごとにタイマーを活用し、時間管理を習慣化、見通しをもった生活 						
	運動・感覚	<ul style="list-style-type: none"> ・コーディネーショントレーニングを取り入れた運動プログラムにより、体幹の強化から姿勢保持につなげる、バランス能力を向上し振れの少ない動作を身につける、識別能力を向上し道具操作を身につける ・感覚統合療法やビジョントレーニングを通して、指先、足裏などの触覚、視機能、固有受容覚、前庭覚を刺激することでボディーイメージの形成につなげ、学習や運動の達成、社会性の構築 						
	認知・行動	<ul style="list-style-type: none"> ・農作業療法を通し、季節の変化を体験し、感性形成を促す ・カレンダーやタイマーを活用し、日付や時間の概念を定着する ・ビジョントレーニングを通し、視空間認知の機能向上 ・小集団活動での内発的動機づけ、役割の責任などを体験することにより、適切な認知・行動形成 						
	言語コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> ・ソーシャルスキルトレーニングを通し、小集団の活動の中で、感じている感情を表出できるよう指導員が代弁することでインプットを促す、感情の理由づけを行うことでアウトプットを促す ・手話を通じて言葉以外のコミュニケーションツールを学ぶ ・ビジョントレーニングを通し基礎名となる感覚機能を活用し、言語機能の発達を促す 						
	人間関係社会性	<ul style="list-style-type: none"> ・小集団活動の中で、目標設定を共有することにより、自分の楽しみ方や世界観を他者と共有し、遊びの幅が広がる成功体験を積む ・他者との関わりを増やすための誘い方や感情の表出の仕方をロールプレイングを繰り返し汎化する ・なぜ自分がそう思ったのかという理由を振り返ることで自己理解を深める ・属する集団全体が楽しい時間を共有するために必要な言葉や感情の表出方法を指導員と共に振り返り身につける 						
家族支援		<ul style="list-style-type: none"> ・お客様の様子をフィードバックの時間やツールを設けることで詳細に共有 ・不安や困りごとなどに対し必要に応じて面談の機会を設け助言を行う 			移行支援		<ul style="list-style-type: none"> ・移行先への園や学校、関係期間と連携し、情報共有することで途切れのない支援を行う 	
地域支援・地域連携		<ul style="list-style-type: none"> ・学校や関係機関との情報共有を密に行い、連携することで統一した支援を行う ・必要に応じて担当者会議を開催し、支援方法に関し協議する 			職員の質の向上		<ul style="list-style-type: none"> ・定期的な社外研修、社内研修により専門的支援の知識習得 ・事例検討会議の実施により支援方法の考察、共有 	
主な行事等		<ul style="list-style-type: none"> ・保護者会 ・季節ごとの行事（餅つき、ひな祭り、節分、夏祭り、ハロウィンなど） 						